

科目番号 A14	保育実習指導Ⅲ	保育士資格取得のための必修科目	単位数： 1単位	担当教員名：飯尾 雅昭、農野 寛治 担当形態：クラス分け
科目	(保) 保育実習			
施行規則に定める 科目区分又は事項等				
その他	年次：2年次	授業形態：演習	卒業：選択	幼稚園教諭：－ 保育士：選択

授業内容	<p>「保育実習Ⅲ」は「保育実習Ⅰ」を踏まえ、保育士資格の取得に向けて、より専門的な学びを得る実習となり、自己の適性と卒業後の進路選択の資料を得る実習ともなる。</p> <p>この実習では、「保育実習Ⅰ」で学んだことをベースにしてさらに施設現場で経験する実務体験を通して学習を深化させ、保育士として必要な資質・能力・技術を習得することを目的に行う。</p> <p>子ども（利用者）のニーズの把握と個別理解に努め、施設養護の過程の実践を通して、個別支援計画の作成と養護実践が行えるよう課題意識を高めて応用できる力量を培う。併せて多様な養護ニーズに対応できる知識と技術、判断力を養うと共に実習を通して保育士の業務及び職業倫理を学ぶ。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童福祉施設等（保育所以外）の役割や機能について実践を通して理解を深める。 2. 家庭と地域の生活実態にふれて、保護者・家庭支援のための知識、技術、判断力を養う。 3. 施設保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。 4. 保育士としての自己の課題を明確化する。
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・1回生開講科目の「社会的養護」の単位を取得していること。 ・「保育実習指導Ⅲ」の出席状況・受講態度が良好であること。 ・各種別施設の特性を理解し、「保育実習Ⅰ」で修得した知識・技術をさらに応用できるよう準備する。 ・『保育実習の手引』により、授業で学んだことをしっかり復習しておく。
教科書	『保育実習の手引＜福祉施設編＞』（実習指導室発行）
参考書・資料	必要に応じて資料などを配付する。
評価方法	実習への出席状況、実習態度、実習施設の評価（実習記録を含む）に基づき総合的に評価（合否）する。
特記事項	

授業計画

回	項目	内容	学習課題（予習・復習）	
			内容	時間
第1回	オリエンテーション (施設実習の意義と目的)	「保育実習Ⅰ」における「施設実習」の意義を理解する	テキスト「保育実習の手引き（施設編）」を前もって読んでおく	30分
第2回	実習に必要な準備と手続き	実習の段階を学び、実習生カードを作成する	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当箇所を事前に読み込んでおく ・実習生カードの記入準備 	30分
第3回	実習施設を理解する①	実習施設の理解を深める事前訪問等についての準備をする	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当箇所を事前に読み込んでおく ・授業の振り返りと次の予習をしておく 	30分
第4回	実習施設を理解する②	実習施設の種別内容を理解し、自らの課題を明確にする	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当箇所を事前に読み込んでおく ・授業の振り返りと次の予習をしておく 	30分
第5回	実習施設を理解する③	福祉施設の現状と利用者への支援方法を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当箇所を事前に読み込んでおく ・授業の振り返りと次章の予習をしておく 	30分
第6回	施設現場の理解 ①「児童館」	児童館の役割と活動内容及び厚生員（保育士）の職務を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当箇所を事前に読み込んでおく ・授業の振り返りと次章の予習をしておく 	30分
第7回	施設現場の理解 ②「児童発達支援センター」	児童発達支援センターの実際と保育士の役割・職務内容を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト該当箇所を事前に読み込んでおく ・授業の振り返りと次章の予習をしておく 	30分
第8回	施設現場の理解 ③「障害者施設」	障害者（入所・通所）施設の実際と支援員の役割・職務内容を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当箇所を事前に読み込んでおく ・授業の振り返りと次章の予習をしておく 	30分
第9回	保育士の専門性と職業倫理	施設保育士としての専門性についての学びと職業上の倫理綱領を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストで示されている種別倫理綱領をしっかりと読み込んでおく 	30分
第10回	実習における観察と記録	実習日誌等の具体的な内容を確認し記述方法を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当箇所を事前に読み込んでおく ・授業の振り返りと次章の予習をしておく 	30分
第11回	プライバシーの保護と 守秘義務	施設利用者のプライバシーと守秘義務の徹底を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当箇所を事前に読み込んでおく ・授業の振り返りと次章の予習をしておく 	30分
第12回	実習直前の準備と心構え	実習上の心構え・留意事項について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストの該当箇所を事前に読み込んでおく ・実習に向かうための準備の最終確認をする 	30分
第13回	事後学習 ①実習体験の報告	施設実習の振り返りを行い、実習成果及び反省課題を報告する（所感作成）	<ul style="list-style-type: none"> ・実習終了後の実習所感の記入準備をしておく ・実習記録等の整理と提出 	30分
第14回	事後学習 ②自己課題の明確化	振り返りを通して自己反省と自己課題の明確化を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・実習成果を報告するための準備をする ・授業用ファイルノートの提出準備 	30分
第15回	事後学習 ③今後の課題と学習目標	実習成績評価票による指導を受け、今後の課題と学習目標を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・実習成績評価票の開示指導を受けた後の、今後の課題への取り組みを整理して次の目標を立てる 	30分

定期試験は実施しない。